

折に触れ 四字熟語

NO. 315 『物情騒然』 ぶつじょう そうぜん

< 意味 > 世の中が落ち着かず騒がしいさま。

表 言 : 物情騒然ともいうべき時世にあって

用 例 : しかも歴史の大きな波が押し寄せて来る少し前で、何となく物情騒然たる時代であったのである。<井上靖・遺跡の旅シルクロード>

語 釈 : 「物情」は世の中の様子。人々の心。「騒然」は騒がしいさま。落ち着かないさま。

一 言 : アメリカではトランプ大統領が就任前から大胆な政策を発表し世界中に衝撃が走っています。お隣の韓国では尹大統領が出した「非常戒厳」をめぐり国内が大揺れに揺れて収拾する様子が見えません。日本でも昨秋の選挙の結果、与党が過半数割れし少数与党になり混乱が続いているように見えます。

参考文献 : 岩波書店「四字熟語辞典」